

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	地盤面が凍結している状況下での火災訓練中に、筒先員が放水圧力により、筒先が振られ、補助員の顔面に水が当たり両眼を負傷したもの。
3. 体験した事例の中心的要素	<ul style="list-style-type: none"> ・凍結した地盤面での火災訓練 ・訓練環境を考慮した適切な放水圧力の設定 ・装備の完全着装
4. 体験した事例の原因・理由	・訓練環境の把握

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成25年1月17日 午後1時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：分署敷地内
4. 体験した事例の種類	他人が、回答者を負傷させた。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	その他：火災訓練中、放水した水が顔面に当たり両眼角膜を負傷する。
7. 事例体験時の活動	演習訓練、[火災]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他：ホース延長訓練及び放水訓練
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[20]歳、勤続年数[2]年、現場経験年数[2]年、階級[消防士] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[21]歳、勤続年数[1]年、現場経験年数[1]年、階級[消防士] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[56]歳、勤続年数[38]年、現場経験年数[38]年、階級[消防司令] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [車長]
○その他(当事者が4人以上の場合)	当事者D・年齢22歳・勤続4年・現場経験4年・消防士・1年に数度・機関員

11. 事例発生の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	C	放水圧力を上昇させるようDに指示	
経過2	D	放水圧力を上昇	
経過3	B	筒先員として放水中、放水圧力によりバランスを崩し、保持した筒先が振られた。	
経過4	A	補助員としてBの脇に位置していた。	
経過5	A	顔面に放水の水が当たり両目を負傷した。	
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？
- ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。危険事象の対応方法を知らなかった。集中力、注意力がなかった。足元の安全が確保できていなかった。指揮者が適切に指示しなかった。後方からの監視が行き届いていなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	はい
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	はい
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	はい
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	はい

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

危機管理を持って日頃の訓練と業務に当たります。
災害時に平常心で活動できるよう勤務の中でも話し合い等を行いヒヤリハットを少なくなるよう努力します。

○装備・資機材の対策について

装備・資器材の取り扱い訓練を基本に戻り実施し無理な訓練(場合によっては限界を知ることも必要)を避けるよう心がけます。

○活動環境の対策について

気象条件(降雪・路面凍結・強風等)に応じて対応したいと思います。

○指揮・情報伝達の対策について

経験の少ない若手の隊員に訓練を指導する場合は、基本に戻り行いたいと思います。
ベテランの隊員の知り得た経験を伝承して、より良い訓練にしたいと思います。

現場見取図

